

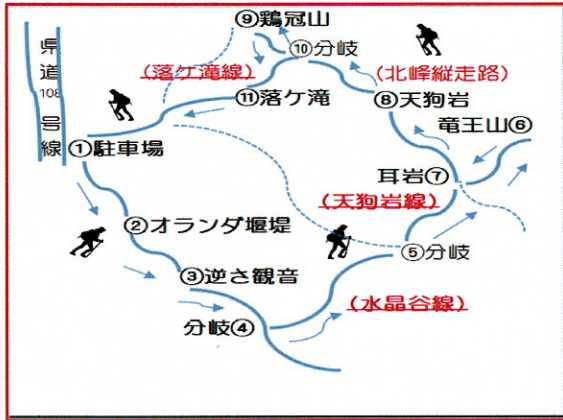
金勝アルプス (鶏冠山491m・竜王山605m)



(ハイライトシーン) [※ 実施日--2022年8月23日(火)]

※弥生班 計6名

(金勝アルプス ロードマップ)



① (オランダ堰堤)



② (竜王山 頂上)



⑤ (天狗岩をバックに)



④ (巨岩・奇岩--その2)



③ (巨岩・奇岩--その1)



⑥ (天狗岩の上)



⑨ (巨岩を持ち上げる?)



⑧ (ランチタイム 乾杯)



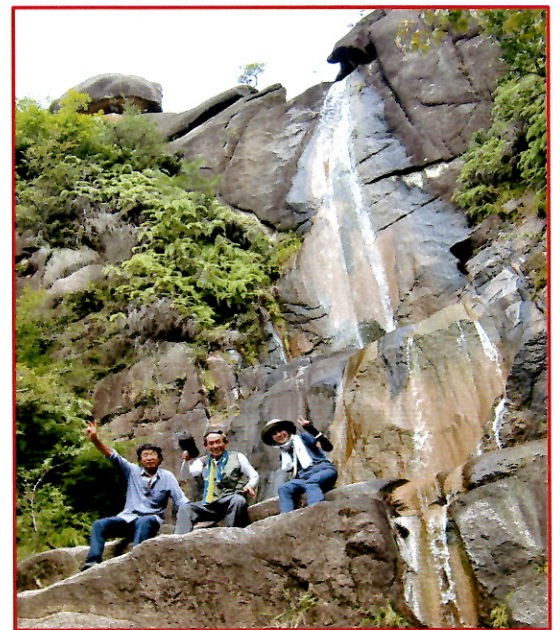
⑩ (鶏冠山 頂上)



⑦ (天狗岩の上)



⑪ (落ヶ滝)

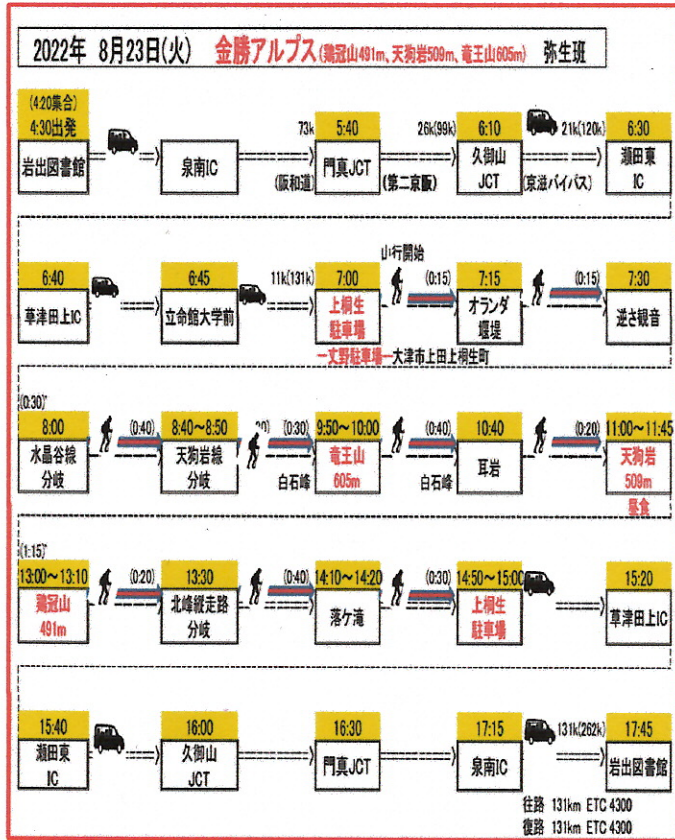


金勝アルプス(鶏冠山 491m・竜王山 605m)

紀峰山の会 (弥生班)

※(山行日) ---- 2022年8月23日

※(行程) [予定]



※(行程) [結果]

(往路---車移動)

○岩出図書館 (出発) 4:00
○上桐生駐車 (到着) 6:00

(山行)

- ① 駐車場 ----- 6:10
- ② オランダ堰堤 ----- 6:15
- ③ 逆さ観音 ----- 6:30
- ④ 水晶谷線分岐 ----- 7:00
- ⑤ 天狗岩線分岐 ----- 7:40
- ⑥ 竜王山 ----- 9:35
- ⑦ 耳岩 ----- 10:20
- ⑧ 天狗岩 (昼食) ----- 10:45
- 天狗岩 (出発) ----- 11:15
- ⑨ 鶏冠山 ----- 12:40
- ⑩ 北峰縦走路分岐 ----- 13:00
- ⑪ 落ヶ滝 ----- 13:40
- ① 駐車場 ----- 14:40

(帰路---車移動)

○上桐生駐車 (出発) 14:50
○岩出図書館 (到着) 17:40

(金勝アルプスのロードマップ)



※[はじめに] (金勝アルプス)

- ・金勝アルプスは竜王山(605m)と鶏冠山(491m)の山々で、竜王山中に金勝寺(こんしょうじ)というお寺があり、地元では金勝(こんぜ)山と親しみを持って呼ばれている。
- ・ここは1000年以上も前から都の造営のために森林が伐採され、さらに燃料採取のために過度に利用されたため、江戸時代には全国的に知られる禿げ山となった。その後、明治以降の治山工事により森林が再生されました。
- ・平安時代に作られた磨崖仏や、奇岩怪石があるなど変化に富んだハイキングコースです。
- ・朝の通勤ラッシュを避けるため、早朝(4時)出発とした。その結果、現地へは計画より早く到着し、時間的に余裕ある山行となった。

(写真1) (6:00 準備体操)



- ・ 駐車場で本日のリーダーの掛け声で体操。本日は高齢者の参加が多いため念入りに足腰のチェックを行う。

(写真2) (山行前のミーティング)



- ・ 金勝アルプスのコース説明、時間割、危険箇所等の情報共有し、安全チェックを実施。特に今月(8月)は安全月間だ!

(写真3) (登山届の提出)



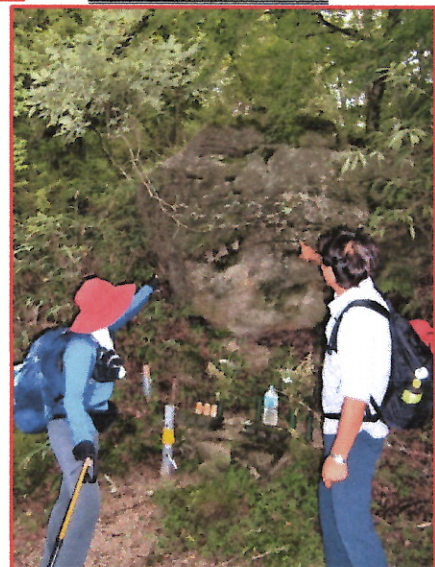
- ・ リーダーにより、安全祈願し投函

(写真4) (6:15 オランダ堰堤)



- ・ 本日の最初の見どころ。金勝の山々は、古く藤原京の造管用材としてヒノキ材を採取され、江戸時代には燃料や灯用として伐採され、はげ山地帯となり、山から大量の土砂が流れ出し、地元は水害に苦しんだ。明治になってから、本格的な各種の山腹工事と樹木の植栽が行われ、この堰堤もそれらの工事の一つとして、築造されたもの。「オランダ堰堤」とよばれる理由は、明治時代に来日したオランダ人技術者デレーケが堰堤築造の指導を行ったことから名づけられたとの説明看板があった。

(写真5) (6:30 逆さ観音)



- ・ 逆さになった磨崖仏。下流の「オランダ堰堤」用の石を採掘したため背後が削られ、逆さに倒れたといわれており、「身を削られ逆さになっても、地元を大洪水から守ってくださる観音様」と敬われているとのこと。

(写真6) (水晶谷線分岐 水晶の原石)



・小川沿いに白く光るものが---水晶?

(写真7) (シダが群がるコースを進む)



(写真8) (コールポイント)



・金勝アルプスの登山ルートは「S-水晶谷線」「K-北峰縦走線」「O-落ヶ滝線」「C-茶仏線」「T-天狗岩線」「KS-狛坂線」「KT-桐生辻線」と沢山ありそれぞれのルートにコールポイントとしてアルファベット記号と番号付けされており、これを頼りに目的地を目指します。

(写真9) (急斜面はロープで)



(写真10) (茶沸観音)



・竜王山に行く途中に。像高24cmのかわいい磨崖仏です。高さ1.78mの岩に深く削られた中にあります。

(写真11) (9:35 竜王山 頂上)

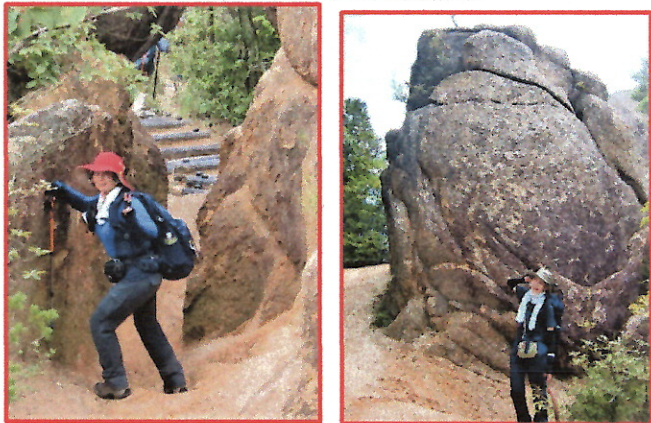


・木々の隙間から近江平野、琵琶湖が見える

(写真12) (白石峰 分岐点)

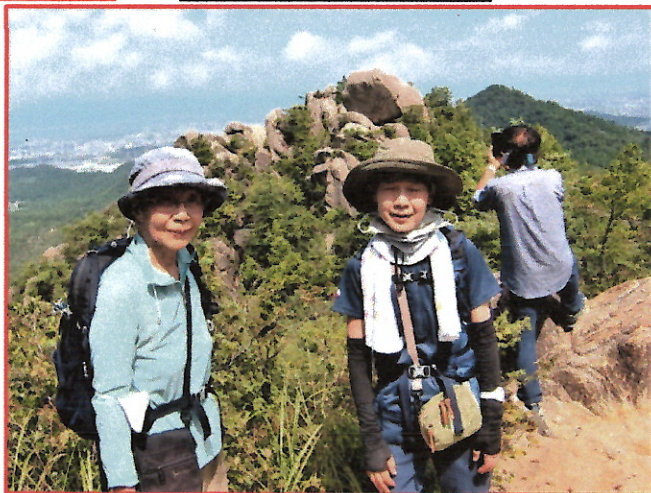


(写真13) (巨岩・奇岩---その1)



・岩の隙間を行く ・耳岩

(写真14) (巨岩・奇岩---その2)



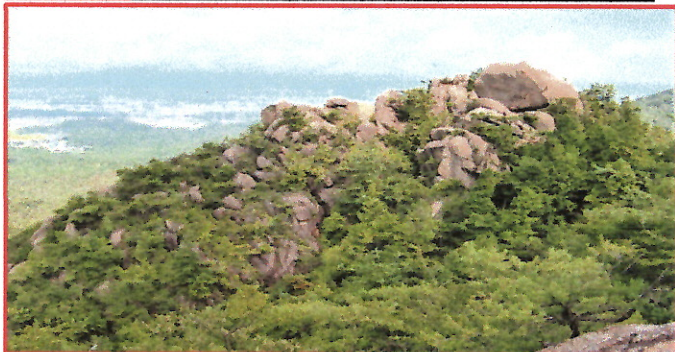
・天狗岩をバックに

(写真15) (巨岩・奇岩---その3)

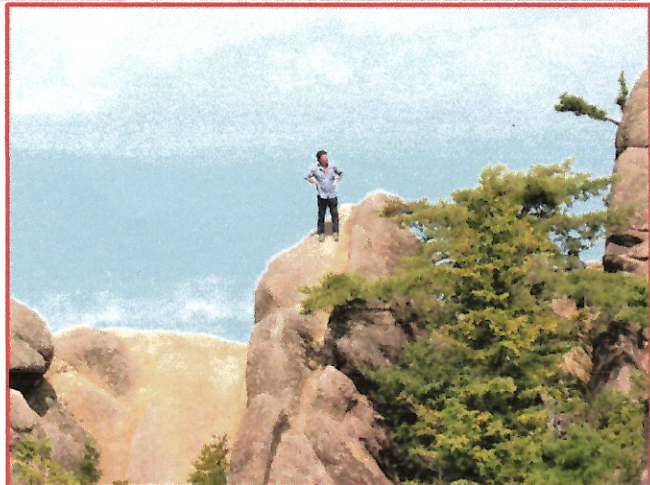


・天狗岩をバックに

(写真16) (巨岩・奇岩---その4 天狗岩全景)



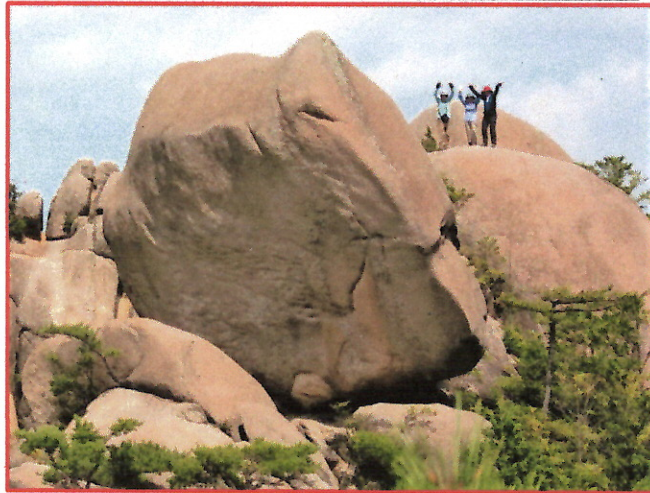
(写真17) (巨岩・奇岩---その5 天狗岩の上)



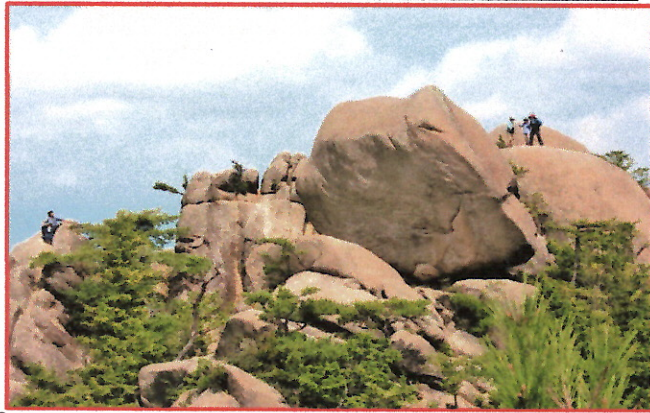
(写真18) (巨岩・奇岩---その6 天狗岩の上)



(写真19) (巨岩・奇岩---その7 天狗岩の上)



(写真20) (巨岩・奇岩---その8 天狗岩の上)



(写真 21) (ランチタイム)

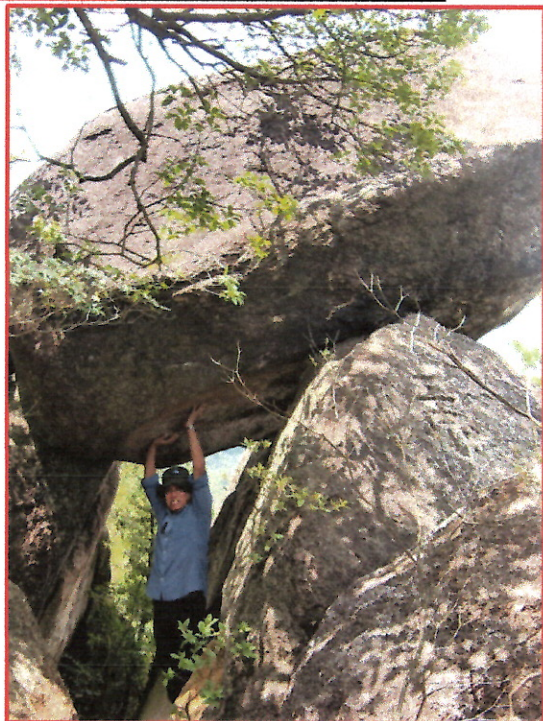


- ・天狗岩の下でランチタイム。
先ずは、乾杯!!

(写真 22) (北峰縦走路—その 1)



(写真 23) (北峰縦走路—その 2)

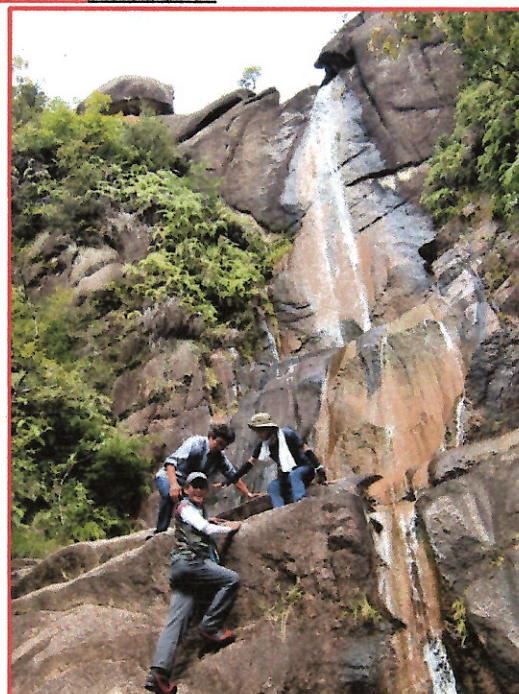


- ・巨岩が落ちてきたあ〜

(写真 24) (12:40 鶏冠山 頂上)



(写真 25) (落ヶ滝)



- ・本日の最後の見どころ

.....
[最後に]

- ・金勝アルプスは一昨年に行き、昨年も計画したが雨で中止となったため、今回、再度計画し、前回とは逆コースを取り、近江の風景を満喫しました。
 - ・周回コースであるが、「竜王山」や「鶏冠山」は往復コースのところもあり、全コースをチャレンジしたメンバーと一部パスしたメンバーもあったが、メンバーの体力に応じて臨機応変に山行が進められ、それぞれ満足感があった。
 - ・弥生班は高齢化が進む中で、今後も山行計画をするうえで、時間配分やコース選定、体力に応じたコース選択を検討し、実行していきたい。
-